



消防大学校だより

■ トップマネジメントコース(第14回)

トップマネジメントコースは、平成17年から地方公共団体の首長等を対象として大規模災害発生時における対応能力を習得することを目的に実施し、今回で14回目となりました。

本年度は、7月20日、東京都千代田区のスクワール麹町において開催し、市町の首長をはじめ消防長などの危機管理者91名が受講しました。

午前中は、東京経済大学吉井博明教授を講師に迎え、「自然災害に対する危機管理～災害情報に関する10の経験則～」と題する講義を行い、災害時の情報をいかにコントロールするのか、災害情報の処理を行うことでいかにリーダーシップを発揮するかを過去の多数の災害を例に教授いただきました。午後は、Blog防災・危機管理トレーニング主宰の日野宗門先生による危機管理演習

「状況予測型の図上訓練」で、演習内容は、「震度6強程度の地震発生」のシナリオ想定の下、地震発生直後から3日後までを3時期に分け、状況等の予測、対応、課題について検討及び整理をしました。続いての評価・検証では、コメンテーターとして、先の東日本大震災において最前線で震災対応に当たられた宮城県危機対策部門のリーダーである宮城県総務部小松宏行危機対策企画専門監、地震・防災行政に積極的に取り組んでいる静岡県危機管理部小平隆弘危機調整監、消防庁で災害・事故等の緊急事態発生時における情報集約等の初動対応を担当する国民保護・防災部山口英樹課長を迎え、専門的立場から助言をいただきました。

受講者は、いずれの講義・演習においても熱心に聴講し、積極的に質疑を行っていました。

受講者からは、「過去の災害に学び、どのような対応を行えば良いのかが示され大変参考になった。」「自分で対応を真剣に考えることができた。」「予測、想定的重要性を理解、認識した。」等の感想が多く寄せられました。

本コースの受講生が各地域における危機管理体制強化の原動力となることを期待いたします。



問い合わせ先

消防庁消防大学校教務部 平川助教授
TEL: 0422-46-1712

平成23年度教育訓練実施状況について

平成23年度の教育訓練の実施状況は下表のとおりです。
これまでの消防大学校における実績とともにお知らせします。

区 分		消防講習所	消防大学校			卒業生数 合計	
		昭和23.6～ 昭和34.3 卒業生数	昭和34.4 ～平成23.3 卒業生数	平成23年度			
				回数	卒業生数		
学 科	総合教育	幹部科	(未実施)	3,578	4	254	3,832
		上級幹部科	668	3,728	1	48	4,444
		新任消防長・学校長科	(未実施)	464	1※	72	536
		消防団長科	453	1,813	2	47	2,313
	専科教育	警防科	(未実施)	5,935	2	120	6,055
		救助科		2,921	1※	60	2,981
		救急科		3,359	1	36	3,395
		予防科	386	5,691	2	95	6,172
		危険物科	(未実施)	503	1	34	537
		火災調査科		961	2	96	1,057
		新任教官科		546	1	87	633
	その他	本 科	796	2,558	(統合済)		3,354
		(専修科等)	817	840	(廃止済)		1,657
	計		3,120	32,897	18	949	36,966
実 務 講 習	緊急消防援助隊 教育科	指揮隊長コース	(未実施)	465	0※	0	465
		高度救助・特別高度救助コース		236	1	69	305
		NBCコース		480	1	63	543
		航空隊長コース		249	1※	36	285
	防災教育科・ 危機管理	トップマネジメントコース		1,100	1	91	1,191
		危機管理・国民保護コース		2,492	1	73	2,565
		自主防災組織育成コース		330	1	50	380
	その他	新任消防長・学校長コース		78	(学科移行)		78
		火災調査講習会		2,640	(学科移行)		2,640
		消防教育訓練コース		4,008	(学科移行)		4,008
		消防学校長研修会等		994	(廃止済)		994
		航空隊コース		668	(廃止済)		668
	計			0	13,740	6	382
合 計		3,120	46,637	24	1,331	51,088	

注 1 過去の教育訓練は、内容に応じて現行区分により整理しています。

注 2 平成23年度は、東日本大震災の発生により一部の学科・実務講習を中止しています。(※)

問合わせ先

消防庁消防大学校教務部 久富事務官
TEL: 0422-46-1714